

泊発電所3号炉 誤操作の防止について (審査会合における指摘事項回答)

2022年12月21日

北海道電力株式会社

1. 審査会合指摘事項に対する回答

【指摘事項】

先行プラントでは、中央制御室において、手すりの設置等により、地震発生時においても運転操作に影響を与えない設計としているが、泊3号炉では、地震発生時には主盤等のデスク部につかまることとしていることに関して、その設計方針が適合性の観点から適切であり、運転操作に影響を与えないことを説明すること。

【回答】

中央制御室における手摺の設置に関して、先行プラントの設計方針を踏まえて再度検討した結果、泊3号炉において主盤等のデスク部につかまることとしていた設計方針を変更し、中央制御盤及び運転員机に手摺を設置することとする。手摺を設置することにより、地震発生時における「操作器への誤接触防止」及び「運転員の安全確保」を確実に達成できる設計とする。なお、手摺の構造等については詳細設計段階において説明する。